



報道関係者各位

12月5日 認知症ケアの「自立支援介護事例報告会」開催のお知らせ

メディカル・ケア・サービス株式会社（MCS 本社：埼玉県さいたま市）は、12月5日に当社が運営する埼玉県内の認知症高齢者対応「愛の家グループホーム」6事業所による『自立支援介護 事例報告会』を行います。

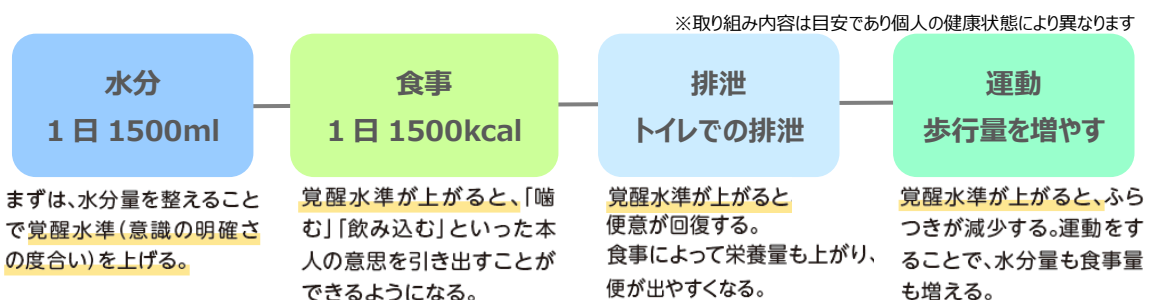
同事業所では、7月より、日本一かつこいい介護福祉士 杉本浩司指導のもと水分補給や運動、栄養、排泄などの生活の基本を見直すことで、本人の力を最大限に引き出す「自立支援介護」に注力しております。その結果、歩行状態の安定や日中の傾眠時間の減少などといった成果が見られ、認知症の方の生活の質の向上が見られています。ぜひ、多くの方に取り組みを知っていただきたく、ご案内いたします。

報告会概要

- 日 時 : 12月5日(木) 12:00 開場
- 会 場 : さいたま市民会館おおみや 小ホール (さいたま市大宮区下町 3-47-8)
J R大宮駅東口より徒歩 15分
- プログラム : 12:30~13:00 杉本浩司 講演「自立支援介護とは何か」
13:00~17:00 実践報告会
- 発表事業所 : 愛の家グループホーム大宮指扇、大宮三橋、岩槻城北、
さいたま八王子、さいたま山久保、東浦和 (※発表順とは異なります)

○自立支援介護の取り組みについて

要介護者が自立するために課題となることから「身体的」「精神的」「社会的」の3つの視点から分析・解決し、生活の質(QOL)の向上を目的としているのが、「自立支援介護」です。水分補給や運動、栄養、排泄などの生活の基本を見直すことで、本人が本来持っている機能を発揮できるように働きかけます。昨年、長野県内の事業所で取り組みを行い、歩行状態の安定や日中の傾眠時間の減少など、**86.3%のご利用者の状態が改善**されました。また、水分や排泄、食事量、バイタルサインなどの各種データ集計を行い、エビデンスケアの確立に向けて進めています。



当取り組みは、認知症戦略室 副室長である、日本一かつこいい介護福祉士 杉本 浩司指導のもと進めております。

認知症戦略室 副室長(兼岐阜事業部 部長) 杉本 浩司

日本一かつこいい介護福祉士として、全国で講演活動を行っている。大学院時代に自立支援介護を学び、35歳の時に介護福祉士の上級資格にあたる認定介護福祉士の人物モデルに約160万人の介護福祉士の中から選ばれる。昨年9月にMCSに入社し、認知症戦略室 副室長兼岐阜事業部 部長として、自立支援介護の推進及び事業所責任者としての運営推進に携わっている。



●事例（愛の家グループホーム大宮三橋 ご利用者）

取組前（2019年5月）



- ▶ 6種の薬を服用
- ▶ 水分摂取を自ら行わない
- ▶ 歩行が不安定
- ▶ 昼夜逆転し日中傾眠傾向
- ▶ 野菜を残す等の偏食が見られる

取組後（2019年10月）



- ▶ 8月より服薬0に
- ▶ 水分摂取を自ら行うように
- ▶ 完全に自立歩行に戻る
- ▶ 日中の傾眠が減少し、活動的な時間が増加
- ▶ 野菜も召し上がり偏食がなくなる

<メディカル・ケア・サービス株式会社>

1999年に埼玉県さいたま市で創業。認知症高齢者対応のグループホーム「愛の家」や介護付有料老人ホーム「アンサンブル」「ファミニュー」など、認知症ケアの専門性を強みとした多様な介護サービスを展開。2017年10月1日に、グループホームの運営居室数が全国1位となりました。

また、中国をはじめとした海外でも有料老人ホーム運営や開発コンサルティング等、事業を推進しています。

所在地：〒330-0852 埼玉県さいたま市大宮区大成町 1-212-3

設立：1999年11月24日

代表者：代表取締役 山本 教雄

従業員数：約6000名（2019年11月現在）

URL：<http://www.mcsg.co.jp/>

拠 点：日本国内 28 都道府県 304 箇所、中国上海市・南通市・広州市・天津市・北京市



介護付有料老人ホーム
アンサンブルシリーズ



グループホーム 小規模多機能型居宅介護 デイサービス
訪問介護 居宅介護支援 都市型軽費老人ホーム



介護付有料老人ホーム
ファミニューシリーズ

<本件に関するお問い合わせ>

コーポレートコミュニケーション室 金子・安國

TEL. 048-778-7630 Mail. ml_cc@mcsg.co.jp